

平成 19 年 9 月 21 日
大阪ウォーターフロント開発(株) 広報課
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当: 松原、清水、西村、齋部、松森)

11 月 1 日の“計量記念日”に

海遊館でジンベエザメの全長を計測します！

「イルミネーションファンタジー～光り輝く生き物たち～」今年も華やかに開催します

大阪市港区の海遊館では、“計量記念日”の平成 19 年 11 月 1 日(木)午前 10 時から、ジンベエザメ「海くん」の全長を計測します。また計測終了後には、「海くん」への給餌体験イベントを行い、その参加者 3 名を募集します(応募締切 10 月 15 日(月)当日消印有効)。

ジンベエザメの全長の計測は、「太平洋」水槽内で、水面下(約 1m)に沈めた 1m の基準尺とジンベエザメを別々に撮影し、コンピューターによる画像処理によってそれらを比較して計測します。また、過去の計測値などから推定して、ジンベエザメの体重も算出します。ジンベエザメの全長を計測するのは、平成 4 年に初めて実施して以来 17 回目で、現在飼育しているジンベエザメ 5 代目「海くん」の計測は今回が初めてです。また同じ方法でオニイトマキエイ(通称マンタ)の体盤幅も計測



今回計測をするジンベエザメ「海くん」

ジンベエザメの給餌体験は、11 月 1 日(木)の計測終了後に「太平洋」水槽の水面上に設置した、キャットウォークと呼ばれる作業用通路で実施します。給餌の際、ジンベエザメは水面付近で大きく口を開けて、水と一緒に餌を勢いよく吸い込むので、ひしゃくを使ってタイミングよく、ジンベエザメの口にオキアミなどの餌を流し込みます。今回、応募者の中から 3 名の方に、1 人 1 回ずつジンベエザメの給餌を体験していただきます。

海遊館では、給餌体験を通して、間近にジンベエザメを体感していただき、ジンベエザメをはじめ多くの生き物に興味を持っていただければと考えています。

また、天保山ハーバービレッジでは、今年もクリスマスシーズンにむけて 10 月下旬から、合計 17 万個以上の LED、電球を使った大規模なイルミネーションを点灯する、「イルミネーションファンタジー～光り輝く生き物たち～」を開催します。海をテーマに、巨大なジンベエザメが海面を泳ぐ様子を幻想的に表現した「アクアウェーブ」や、海底からそびえる大木をイメージした高さ約 26m の巨大ツリー「アクアツリー」のほか、今年は新たに海遊館の生き物をモチーフにした大型

イルミネーションも登場し、さらにバージョンアップしてクリスマスシーズンを華やかに彩ります。
(「イルミネーションファンタジー」の詳細については、後日お知らせします。)

1.【ジンベエザメの全長計測について】

日 時 平成 19 年 11 月 1 日 (木) 10 : 00 ~ 10 : 30
場 所 「太平洋」水槽バックヤード(8 階)
計測方法 はじめに飼育係員が「太平洋」水槽の上部約 5m の位置にセットした計測用ビデオカメラで、1m の基準尺を撮影し、その長さをコンピューターにインプットします。この基準尺は長さ約 1.5m の棒の中央部 1m を 50cm ずつ赤白に塗りわけており、ダイバーが水深約 1m に沈めます。次に水中を泳いでいるジンベエザメの姿を撮影し、先にインプットした基準尺と撮影したジンベエザメをコンピューターによる画像処理で対比し、全長を計測します。また体重は、過去の計測値などを参考にして、全長から推定して計測します。また同じ方法で、オニイトマキエイ(通称マンタ)の体盤幅も計測します。



過去の計測の様子

2.【ジンベエザメへの給餌体験者募集要項】

日 時 平成 19 年 11 月 1 日 (木) 10 : 00 ~ 11 : 00
場 所 「太平洋」水槽バックヤード(7 階)
対 象 16 歳以上の方(高校生を除く)3 名
内 容 ジンベエザメの計測の様子を見学していただいた後、「太平洋」水槽の水面上に設置されたキャットウォーク(作業用通路)より、ジンベエザメに 1 人 1 回ずつ、ひしゃくで餌を与えていただきます。
申込方法 往復はがきに、給餌体験を希望される方の 氏名(ふりがな) 年齢 郵便番号・住所 電話番号 を明記の上、下記宛先までお申し込みください。
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1 海遊館「計量記念日・給餌体験」係まで
はがき 1 枚につき 1 名様のみお申し込みいただけます。
応募多数の場合は抽選。結果は全員の方に返信はがきでお知らせします。
本イベントの募集にあたって収集した個人情報は、抽選および返信はがきの発送など、本イベントに関する目的のみに使用します。
応募締切 **平成 19 年 10 月 15 日(月)当日消印有効**
お問合せ 06 - 6576 - 5501 (9 : 30 ~ 20 : 00)

3.【ジンベエザメ 5代目「^{かい}海くん」】

性別はオスで、推定年齢5~6歳。平成19年6月11日、高知県室戸市室戸岬町高岡沖合の定置網にかかりました。その後、同年6月20日に「大阪海遊館 海洋生物研究所 以布利センター」の大型水槽に搬入しました。平成19年9月11日に、陸・海路あわせて約420km、約22時間を要して輸送し、海遊館の「太平洋」水槽に搬入しました。平成19年6月時点での全長が約4.1m、体重が900kg（いずれも推定）です。海遊館で飼育展示するジンベエザメのオスは、代々名前を「^{かい}海くん」と名付けています。

「大阪海遊館 海洋生物研究所 以布利センター」

海遊館での展示生物の収集、養生と足摺岬周辺海域の海洋生物の基礎的研究を行うために、平成9年9月24日に高知県土佐清水市以布利に開設。施設としては、大型の円形養生水槽（直径20m、水深5m、容量1,600t）と研究管理棟がある。

4.【ジンベエザメ 英名 Whale shark 学名 *Rhincodon typus*】

ジンベエザメ科。温帯から熱帯の沿岸および外洋に生息する大型のサメで、全長18mに達する世界最大の魚類といわれています。ただし、18mという全長は測定に基づく正式な報告ではなく、その後、最大記録は全長13.7mとされてきました。ところが、この記録の真偽も不確かで、最近では最大10~12m、稀にさらに大きく成長する可能性もあると考えられています。日本近海では黒潮に乗って春から秋にかけて現れます。体は灰色で白色の斑点が散在し、小型甲殻類などのプランクトンを食べます。

5.【オニイトマキエイ 英名 Manta ray 学名 *Manta birostris*】

世界最大のエイで、成長すると体盤幅は6mを超えることもあります。頭部には左右一対の頭ビレがあり、普段は巻いた状態で前方に突き出して角のように見えます。体は菱形で背側は黒く、腹側は白地に黒い斑点模様があります。全世界の暖かい海域に生息しており、ダイバーの憧れの的としても有名です。ジンベエザメと同様、プランクトンを餌にしています。海遊館では一日2回にわけて、約4kgの餌を与えています。

「オニイトマキエイ」の成長推移

（海遊館では平成11年12月14日に搬入したオスの個体を飼育しています。）

| 計測日 | H11.12.14 | H14.11.1 | H15.11.1 | H16.11.1 | H17.11.1 | H18.11.1 |
|----------------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 体盤幅（横幅） （m） | 1.80 | 2.43 | 2.60 | 2.68 | 2.80 | 2.93 |

*平成11年12月に測定した体盤幅は、メジャーで計測した値です。

6.【計量記念日について】

計量に関する制度は、経済・社会の最も基本的な制度であり、国民生活のあらゆる分野の基盤的制度です。計量の基準を定め、適正な計量を確保することは、日常の生活を守るとともに、経済の発展及び文化の向上のために非常に重要なものです。経済産業省では、現行の計量法が施行された平成5年11月1日にちなみ、以後11月1日を「計量記念日」とし、計量法の適切な実施とともに計量思想の普及啓発に努めています。電気記念日(3月25日)、発明記念日(4月18日)、貿易記念日(6月28日)とともに、経済産業省4大記念日のひとつです。(社団法人日本計量振興協会ホームページより)

7.【ジンベエザメの全長計測等を取材される記者の方へ】

ジンベエザメの計測等の取材をご希望の方は、11月1日(木)午前9時45分にエントランスビル2階「海遊館案内所」にお越してください。広報課員が現場へご案内します。当日「太平洋」水槽のバックヤードでは、通常の飼育作業も行っているため、撮影の場所を限らせていただきます。また、ジンベエザメが泳いでいる近くで基準尺を沈めることは、危険を伴うためできませんので、あらかじめご了承ください。

本件の取材に関するお問い合わせは、

TEL：06-6576-5529 海遊館 広報課 までお願いします。

(予告)【「イルミネーションファンタジー ~光り輝く生き物たち~」について】

期 間 平成19年10月下旬(予定)~12月25日(火)

時 間 日没~23:00(予定)

場 所 天保山ハーバービレッジイベント広場、海遊館エントランスビル正面階段、
天保山マーケットプレイス正面入口ほか

内 容 天保山ハーバービレッジ全体で大規模なクリスマスイルミネーションを点灯させます。昨年も好評であった、巨大なジンベエザメが海面を泳ぐ様子を幻想的に表現した「アクアウェーブ」や、海底からそびえる大木をイメージした高さ約26mの巨大ツリー「アクアツリー」、イルミネーションをリボンにみたてた「光のリボン」、貝や魚のオーナメント(飾り)をあしらった「貝や魚の光のアーチ」のほか、今年は新たに海遊館の生き物をモチーフにした大型イルミネーションも登場し、さらにバージョンアップします。合計17万個以上のLED、電球を使った大規模で幻想的なイルミネーションを点灯させます。



昨年のクリスマスイルミネーションの様子